

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.42
2011.2

くしろ丹頂

平成23年度 営農計画樹立協議



(鶴居地区)

C O N T E N T S

- 営農計画樹立協議を実施 ————— 1
- 大和田克清前理事二瓶賞を受賞 / 間伐事業の検収を実施 — 2
- 平成22年度釧路地区JA女性部研修会 ————— 3
- 普及センターだより ————— 4
- 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報 ————— 5
- 理事会報告 / 辞令発令 ————— 6
- とともに考えよう「この国のかたち」TPP交渉参加反対 — 7



大和田克清氏(音別) 二瓶賞受賞

営農計画樹立協議が実施される!!

カメラ アングル



幌 呂 地 区



白 糠 地 区



音 別 地 区

一月十二日から一月末にかけて、平成二十三年
度 営農計画樹立協議が、各地区において行なわれ
ました。

生乳生産の状況は、夏場の猛暑の影響などによ
り、目標数量を下回っており、目標数量達成は厳
しい状況です。また、乳量の減少、乳成分の低下、
乳価の値下がり、飼料費の高止まりなどにより、
農家経済は厳しい状況となっております。

平成二十三年度の酪農情勢の見通しは、景気低
迷が続く中、FTA・EPAの推進、TPP問題
の行方など先行きが見通せない状況の中、「北海
道酪農生産体制強化対策」（平成二十一年～二十
三年の三カ年間実施）の最終年を迎え、国内消費
の拡大は難しい見通しですが、府県の生乳増産が
見込めない予測であり、主産地として前向きな生
乳生産が求められています。

このような情勢の中、当JAの酪農畜産の安定
的な発展のためには、計画的な生産基盤の整備強
化を図り、生産性の向上及び安定に向け、情勢変
化に対応できる柔軟な経営を確立し、コスト低減
に向けた積極的な取組が必要であり、向こう一年
間の経営計画を樹立するため、真剣な協議が行な
われました。

前理事 大和田 克清氏 二瓶賞を受賞

二月三日釧路全日空ホテルにおいて、釧路農業の振興発展に功績のあった人を讃える「第十八回二瓶賞」（二瓶栄吾翁顕彰会主催、管理委員長・釧路農協連会長）の表彰式が行われ、農業指導の部で当JA前理事の大和田克清氏（音別）が受賞しました。

氏は、昭和四十年に経営移譲を受けた後、町乳検組合長、町（市）農業振興公社理事長（現職）、町（市）農業委員及び農協役員等と永年務め、農業指導者として地域農業の発展に寄与してきた多大な功績が認められたもので、小瀬管理委員長から表彰状が手渡されました。

大和田氏は謝辞で「今回の受賞は、ひとえに私を支えて下さった地域やJA、関係機関のご指導とご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。地域農業には、TPP問題など、取り巻く課題も多いが、地域とともに今後も精進したい。」と挨拶がありました。

第18回二瓶賞表彰式



謝辞を述べる大和田氏と和子夫人

間伐事業の検収を実施

二月十四日、農協山林の間伐事業にかかる検収を音別・白糠地区に於いて地区役員及び担当職員の出席のもと行ないました。

音別地区は川西の山林、白糠地区は和天別の山林で、それぞれ現地土場で「くしろ西森林組合」宮寄組合長並びに菊池参事より説明を受け検収を行いました。

また、役員からは市況状況等についての質問が出され、森林組合より昨今の厳しい林業情勢の説明がなされました。



平成22年度 釧路地区JA女性部研修会開催される!!



講演「体操を日常の中で」

一月二十日、二十一日の二日間にわたり、あかん遊久の里 鶴雅において、平成二十二年度釧路地区JA女性部研修会が開催されました。丹頂女性部からは鶴居・幌呂・白糠・音別の四支部より計二十名の部員が参加し、管内の女性部員合わせ計九十名が参集し開催されました。

この研修会は、釧路管内のJA女性部員が集まり交流を深めるとともに、JA運動への理解と参加促進、各種文化活動の展開、そして女性部組織を一層活性化させる事を目的に開催されております。

今回の研修会では、一日目に町立厚岸病院理学療法室技師長 久米正志 講師により「体操を日常の中で」と題した講演が行なわれ、日常生活の動きの中に、体操のエッセンスを取り入れた健康な身体づくりについて学びました。

引き続き、株式会社アピサル・シヤパン 職立 真理講師による「お砂糖でキレイになる！〜道産てん菜糖の化粧品シユクレ〜」と題したジョイライフ商品についての研修も行なわれました。

また、JA浜中町女性部の日向よしみさんによる「『家の光』は時空をこえて」と題し、家の光記事活用体験発表が行なわれ、家の光とながる家族のきづな、食との関わりなどについて発表がありました。

二日目には、別海町 水沼和子講師による「デコスイーツ作り」の研修が行なわれ、各テーブルに分かれてケーキ型の置物を熱心に作り上げ、二日間にわたって行なわれた研修会は、大変有意義なうちに無事終了しました。



懇親会でのアトラクション



「デコスイーツ作り」に挑戦

エサの水分を把握しましょう

エサの水分を把握することは、常に安定したエサを乳牛に与えることを可能にし、生乳生産だけでなく、乳牛の健康維持にも繋がります。

一 現物と乾物

手にした、そのままの状態のエサを現物と言います。このエサ(現物)から乾燥機や電子レンジなどを使い、水分を完全に取り除いたものを乾物と言います。

そして、現物の重さに占める乾物の割合を乾物率と言います(図1)。

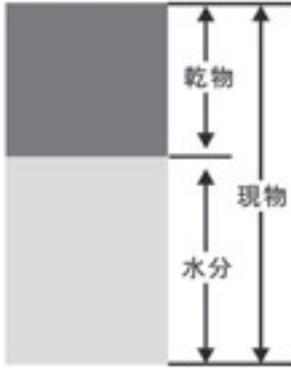


図1 現物と乾物

二 飼料給与における注意

写真1はいずれも乾物〇・五kgの粗飼料(左から乾草、サイレージ、生草)です。各粗飼料の水分が異なるため、現物の量は大きく

変わります。

したがって、水分を含んだエサを扱うときには、常に乾物率を意識する必要があります。

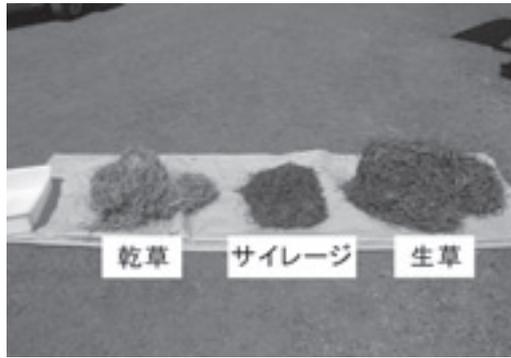


写真1 乾物の量が同じ粗飼料
左より乾草、サイレージ、生草

三 簡易な乾物把握方法

酪農現場で最も身近な水分を含んだエサとして、サイレージがあげられます。

乾燥機や電子レンジなどが無くても、サイロのすぐ側で、簡易的にサイレージの水分を確認する方法として、『スクイーズテスト』があります(図2)。

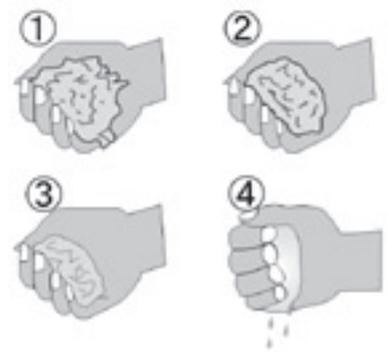


図2 スクイーズテスト

- ① 手を開くと同時に、サイレージがはじけるように広がる(水分六〇%以下)
- ② サイレージがゆっくりと広がり、手の平が濡れない(水分六一〜七〇%)
- ③ サイレージが玉状となり、手の平が濡れている(水分七一〜七五%)
- ④ サイレージから汁液がしたたる(水分七六%以上)

四 乾物率を考慮したサイレージの取り出し方

サイロの上下では乾物率が異なる場合が多いので、エサを調整するにあたり、各ロットで水分が変動しないように、サイレージの取り出しには、次の点に注意して行いましょう。

○ バケットで取り出す場合
上からかき落とすようにし、常に全面から取り出し、上部と下部のサイレージを混ぜる。

○ 取り出し機を用いる場合(写真2)
常に縦方向に取り出し、サイロの上部と下部のサイレージを混ぜる



写真2 取り出し機

また同じサイロでも、サイレージを取り進めていくうちに水分が変化する場合があるので注意が必要です。

皆さんの農場でも、エサの水分を確認して、安定した飼料給与を心懸けてみてはいかがでしょうか。

(平成二十二年十二月 作成)

■平成22年度 生乳生産実績（12月）

	月計乳量 (kg)	12月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,280,880.2	97.2	76,219,962.8	98.2
（鶴居地区）	2,641,171.5	95.2	25,068,476.0	97.8
（幌呂地区）	2,286,970.5	98.5	20,525,016.3	99.5
（白糠地区）	1,972,530.5	98.0	18,071,169.2	99.3
（音別地区）	1,380,207.7	97.4	12,555,301.3	95.5
管内計	43,853,656.0	99.0	403,684,765.1	99.6
（前年度管内計）	44,303,642.0		405,213,119.2	

■平成22年度 生乳生産実績（1月）

	月計乳量 (kg)	1月前年比(%)	累計乳量 (kg)	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,462,211.6	96.6	84,682,174.4	98.1
（鶴居地区）	2,682,733.9	94.1	27,751,209.9	97.5
（幌呂地区）	2,321,781.2	97.4	22,846,797.5	99.3
（白糠地区）	2,046,412.1	97.6	20,117,581.3	99.2
（音別地区）	1,411,284.4	99.1	13,966,585.7	95.8
管内計	44,826,149.0	98.7	448,510,914.1	99.5
（前年度管内計）	45,406,875.3		450,619,994.5	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

23年2月1日現在

(単位：千円)

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成（8～12ヶ月）		300	220
初妊		610～570	570～530
経産	2産～3産	410	360
	4産～5産	360	310

初生とく

23年2月1日現在

初生とく	規格	単価
	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	1,000円/kg
	40kg～44kg	900円/kg

(提供/ホクレン釧路支所)

黒毛和種

23年1月17日音更市場

(価格：円・体重：kg)

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	525頭	719,250	141,750	399,154	288	1,388
	去勢	655頭	623,700	100,800	476,750	302	1,579

(提供/ホクレン帯広支所)

理事会報告

12月定例理事会

平成22年12月22日（水）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 定期監査（第3四半期末）報告について
4. 内部審査の結果について
5. 11月末財務状況について
6. 事業の実施処理状況について
7. 子会社の経営状況について

- 議案第2号 理事と組合との契約承認について
議案第3号 JA農業経営緊急支援資金の貸付について
議案第4号 融資の承認について
議案第5号 営農計画樹立基本方針の設定について
議案第6号 諸規程の一部変更について
※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 当面の業務日程について

付議事項

- 議案第1号 信用事業方法書（金融機関等の業務代理）の一部変更について

1月定例理事会

平成23年1月26日（水）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 12月末財務状況について
4. 平成22年度決算見込みについて
5. 事業の実施処理状況について

- 議案第4号 北海道農業信用基金協会に対する出資増口について
議案第5号 平成23年度生乳生産基盤強化対策事業要領の設定について
※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 平成22年度農家経営支援対策について
2. 組合員の農業に係る現況照会について
3. 「TPP交渉参加反対1千万署名全国運動」の実施について

付議事項

- 議案第1号 監事監査の結果に対する回答について
議案第2号 営農振興資金の貸付について
議案第3号 融資の承認について

辞令発令

平成23年2月1日付

氏名	異動後	異動前
高瀬 隆生	購買部長兼生産資材課長	購買部長
伊藤 敏弘	購買部 生産資材課考査役	購買部 燃料課長
鈴木 幸一	幌呂支所 購買課付課長	購買部 生活課長
中村 祐二	購買部 燃料課長	購買部 生産資材課長
菊地 哲男	購買部 生活課長	幌呂支所 購買課生活係長兼資材係長

編集後記
EDITOR'S NOTE

- 昨日、鶴を見に鶴のねぐらがある雪裡川の音羽橋（おとわばし）に行ってきました。上流にも下流にも一本足で立つ丹頂たちが見えました。今、高病原性鳥インフルエンザが問題となっておりますが、丹頂への影響がないことを願っております。
- 今年も、各地区での営農計画樹立協議が終わりましたが、また新たな年に向け、生産性の向上及び経営の安定に向けた取組みを御期待しております。



ともに考えよう「この国のかたち」

TPP交渉参加反対

TPPとは？

環太平洋連携協定の略で、シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイの4カ国が参加する自由貿易協定で、2006年5月に発効。米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアが参加を表明し、貿易自由化だけでなく、医療、保険、公共事業、人の移動や食品の安全基準など幅広い分野を対象とし、まさしく「この国のかたち」を変えるほどの自由化レベルが高い包括的経済連携のことです。

北海道
農業 経済 生活
を守れ!

試算前提	試算結果	北海道の食料自給率 211% ▼ 64% へ低下
TPPによる北海道への影響試算 <small>(北海道農政局)</small> 対象品目 米、小麦、てん菜、 でん粉、酪農、 肉用牛、豚 計7品目 対象年度 20年度	★影響額合計 ▲21,254億円 うち農業産出額 ▲5,563億円 うち生産条件不利補正交付金 ▲617億円 うち関連産業 ▲5,215億円 うち地域経済 ▲9,859億円 ★雇用 ▲173千人 ★農家戸数 ▲33千戸	

北海道農業・農村の 多面的機能の評価額	国土保全機能	7,405億円	国土の荒廃 森や村、浜が崩壊
	アメニティ機能	4,149億円	
	教育・文化機能	1,027億円	
	合計評価額	12,581億円	

農業協同組合 / JAグループ北海道

お問い合わせ先 JA北海道中央会基本農政対策室 ☎011-558-0373